LabelCLT
ユーザーズガイド

JPN
Version 01

目次

LabelCLT の概要 1

LabelCLT を使いテンプレートデータファイルを転送する 2

PDZ ファームウェアファイルをUSB 経由で転送する：例 5

本体の操作/本体情報の取得 10

単体で使用する 12

LabelCLT の概要

概要

LabelCLT は、コマンドラインを使用してファイルの転送とプリンターからのステータスの取得を可能にするコマンドラインツールです。

LabelCLT をダウンロードするには、サポートサイト（support.brother.co.jp）でお使いの機種のソフトウェア**ダウンロード**ページにアクセスしてください。

操作環境

サポートされているオペレーティングシステム

Windows のみ。サポートされているオペレーティングシステムの最新一覧については、support.brother.co.jp にアクセスしてください。

通信インターフェース

USB、有線 LAN または、無線 LAN

ファイル形式

ファイル形式	生成元	サポートされているインターフェース
BIN	本体設定、通信設定、P-touch Template 設定、用紙サイズ設定	USB、LAN
PDZ	ファームウェアおよびP-touch Transfer Manager	USB
BLF	本体設定、通信設定、P-touch Template 設定、用紙サイズ設定、P-touch Transfer Manager、LabelCLT	USB、LAN
CSV	Windows アプリケーション	USB、LAN
OTF	フォントファイル形式	USB
TTF		
P12	セキュリティ証明書に使用するファイル形式	USB
PEM	セキュリティ証明書に使用するファイル形式	USB

LabelCLT を使いテンプレートデータファイルを転送する

サポートされるコマンド、使用例、ここに掲載されていないエラーにつて、support.brother.co.jp のサポートサイトのLabelCLT 製品マニュアルを参照してください。

LabelCLT をインストールする

1. LabelCLT をパソコンにダウンロードします。
2. Windows の検索ボックスに「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動します。
3. LabelCLT が保存されているドライブを入力し、Enter キーを押します。（この例では、LabelCLT は「C」ドライブに保存されています。）

   ```
   J:\>c:
   ```

4. 「**cd**」と入力し、スペースを追加して、「LabelCLT.exe」ファイルがあるフォルダーのパスをコピーペーストします（この例では、「**cd c:\LabelCLT**」）。Enter キーを押します。

   ```
   c:\>cd c:\LabelCLT
   ```

5. 「**LabelCLT.exe /eula**」と入力し、Enter キーを押してライセンス契約を表示します。ライセンス契約の条件に合意する場合は、キーボードで「y」（「はい」）を入力してEnter キーを押します。

基本的なファイル転送手順

1. インターフェースに応じて以下のコマンドの1 つを使用し、プリンターにアクセスします。

コマンド	機能	例
/ip:"IP アドレス"	LAN：IP または NodeName を指定します。	/ip:"192.168.0.250" または /ip:"BRW00AABBFF"
/printer:"プリンター名"	USB：プリンター名を指定します。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)"

メモ

- IP コマンドで IP アドレスとノード名を両方指定する場合、ノード名が使用されます。
- 引数上限は 259 文字です。

2. 以下のコマンドを使用しファイルを転送します：

コマンド	機能	拡張子	例
/send_pdz:"FilePath"	指定した PDZ ファイルを送信します（USB のみ）	.pdz	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_pdz:"c:\test\a.pdz"
/send_pd3:"FilePath"	指定した PD3 ファイルを送信します（USB のみ）	.pd3	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_pd3:"c:\test\a.pd3"
/send_blf:"FilePath"	指定した BLF ファイルを送信します	.blf	/ip:"192.168.0.250" /send_blf:"c:\test\a.blf"
/send_bin:"FilePath"	指定した BIN ファイルを送信	.bin	/ip:"192.168.0.250" /send_bin:"c:\a.bin"
/send_csv:"FilePath"	指定した CSV ファイルを送信	.csv	/ip:"192.168.0.250" /send_csv:"c:\test\a.csv"
/send_font:"FilePath"	指定したフォントファイルを送信します（USB のみ） オプションコマンドに関しては、*表 1 を参照してください。	.ttf, .otf	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_font:"c:\test\a.ttf"
/send_client_certificate:"FilePath"	指定したクライアント証明書ファイルを送信します（USB のみ） オプションコマンドに関しては、*表 2 を参照してください。	.p12	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_client_certificate:"c:\test\a.p12"
/send_ca_certificate:"FilePath"	指定した CA 証明書ファイルを送信します	.pem	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_ca_certificate:"c:\test\a.pem"

*表 1.フォントファイル送信に関連するオプションコマンド

オプションコマンド	機能	例
/font_index:"IndexNo"	登録するインデックス番号を指定します。指定しない場合、空いているインデックス番号に小さい順から割り当てられます。インデックス番号は、255 を超える値に指定することはできません。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_font:"c:\test\a.ttf" /font_index:"1"
/font_name:"name"	登録するフォント名を指定します。指定しない場合、フォントファイル名が割り当てられます。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_font:"c:\test\a.ttf" /font_name:"times.ttf"

*表 2.クライアント証明書ファイル送信に関連するオプションコマンド

オプションコマンド	機能	例
/password:"Password"	クライアント証明書のパスワードを指定します（USB のみ）。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_client_certificate:"c:\test\a.p12" /password:"000000"

3. 以下のコマンドを使用し、一度に複数のファイル（証明書ファイルを除く）を転送します:

コマンド	機能	拡張子	例
/send_multiple_files: "FilePath"	CSVファイルに記載された順序通りに複数のファイルを送信します。 送信可能なファイル拡張子は、表 1 でご確認ください。	.csv	/ip:"192.168.0.250" /send_multiple_files:"c:\test\a.csv"
/send_multiple_files: "FileName.***", "FileName2.***", "FileName3.***"	コマンドに入力された順序通りに複数のファイルを送信します。	送信可能なファイルの拡張子は、表 1 でご確認ください。	/ip:"192.168.0.250" /send_multiple_files:"c:\test\a.pdz", "c:\test\b.blf","c:\test\c.bin"

表 1.転送可能なファイルの拡張子。

拡張子	USB	LAN
.bin	✓	✓
.blf	✓	✓
.csv	✓	✓
.otf	✓	×
.ttf	✓	×
.pdz	✓	×
.pd3	✓	×

例：
以下の場合の転送順序は、a1 > b2 > c3 > a4 > b5 > c6 です。

「C:\test\a1.pdz」，「C:\test\b2.blf」，「C:\test\c3.bin」
「C:\test\a4.pdz」，「C:\test\b5.blf」，「C:\test\c6.bin」

PDZ ファームウェアファイルをUSB 経由で転送する：例

1. **LabelCLT.exe /printer** コマンドを使いプリンターを指定し、**/send_pdz** コマンドで転送するファイルを指定して、Enter キーを押します。

   ```
   c:\LabelCLT>LabelCLT.exe /printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_pdz:"c:\test\a.pdz"
   ```

2. 転送が始まり、転送の進捗が表示されます。
3. 転送が完了すると、プリンターがファームウェアの書き込みを完了するまで LabelCLT は待機します。
4. プリンターのファームウェアの書き込みが完了したら、プリンターは再起動し、LabelCLT は再接続されます。
5. 再接続後に、転送されたファームウェアバージョンと現在のプリンターのファームウェアバージョンを比較します。
6. アップデートが正常に完了すると、**「Succeeded」**が表示されます。

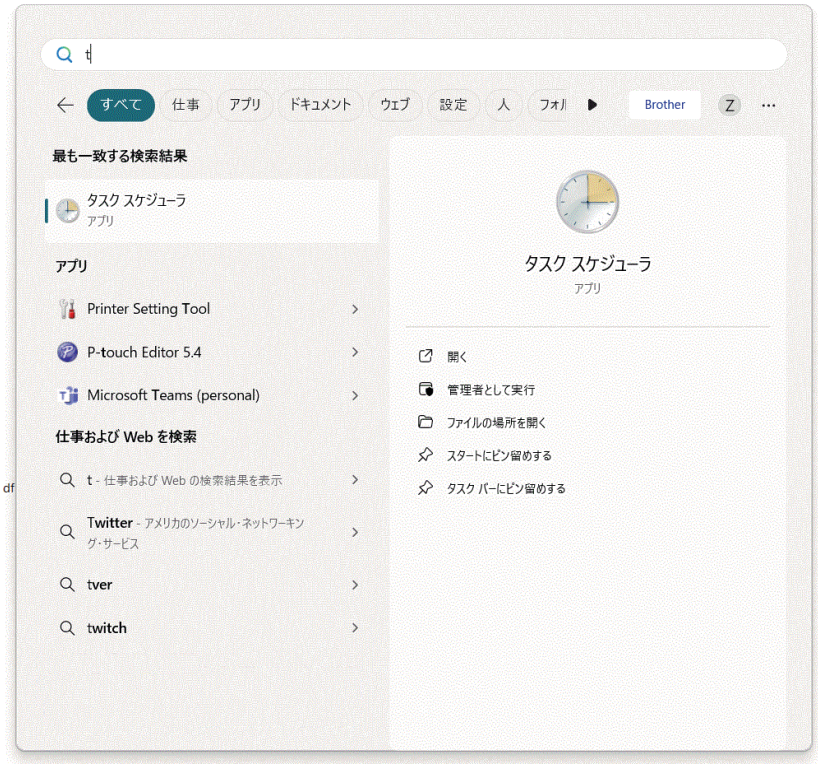
Windows タスクスケジューラの統合により、指定された時間にまたは定期的に指示を実行できます。

1. たとえば、ファームウェアバージョンのチェックなど、実行したいコマンドを使いバッチファイルを用意します。

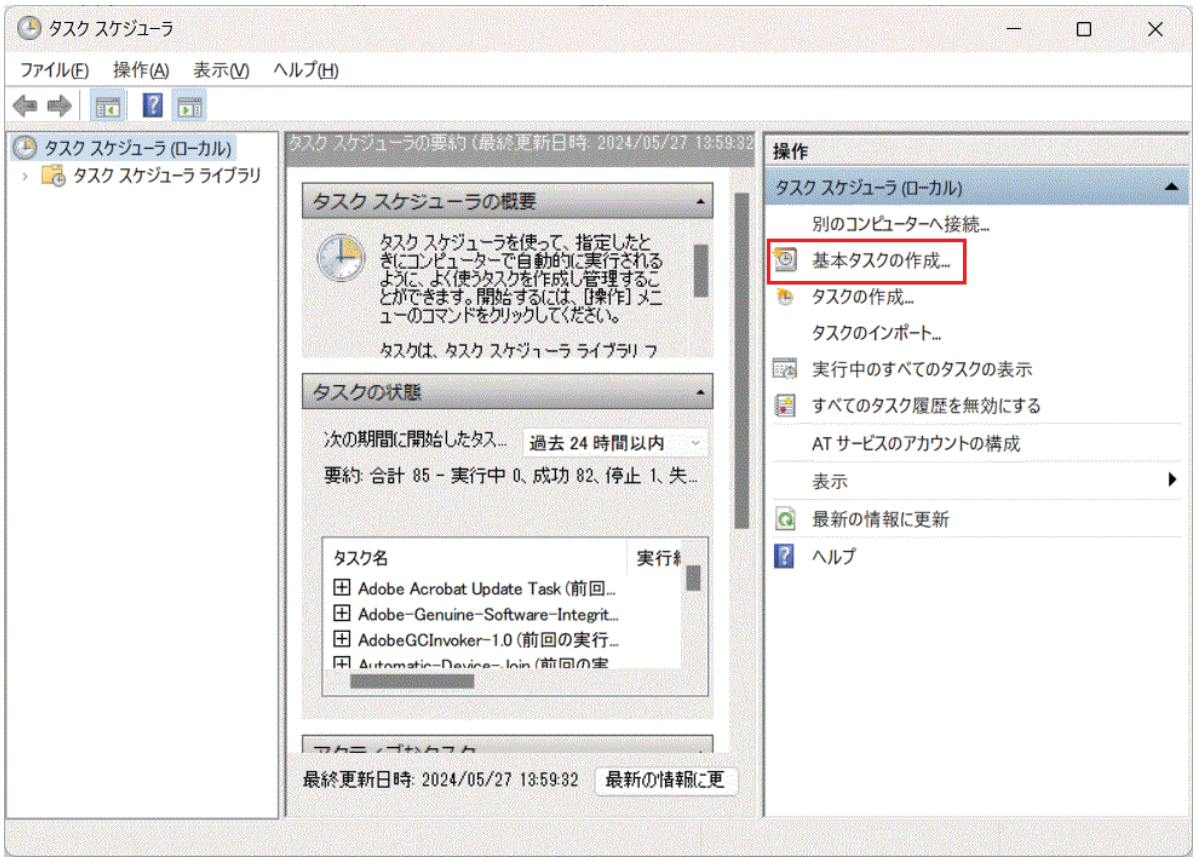
   ```
   Cd /d %~dp0
   LabelCLT.exe /printer."Brother TD-2350D (203 dpi)" get_firmwarever
   pause
   ```

   * 「cd /d %~dp0」は、フォルダーを BAT ファイルと同じ場所に移動するコマンドです。本例では BAT ファイルが LabelCLT.exe と同じ階層にあるため、このコマンドを使用します。

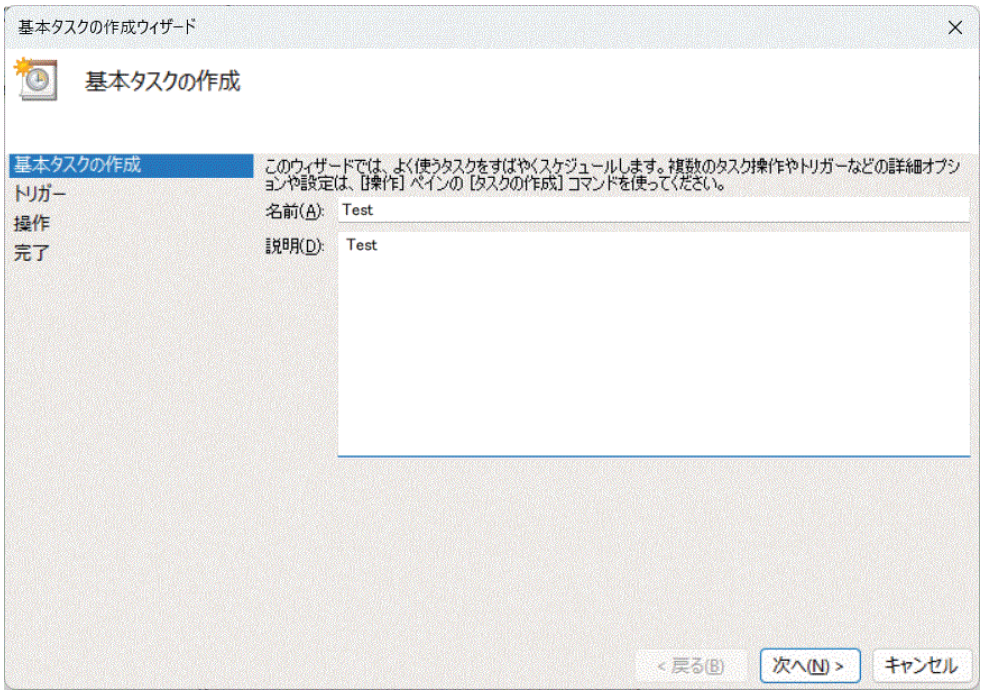
2. **Windows タスクスケジューラ**を起動します。



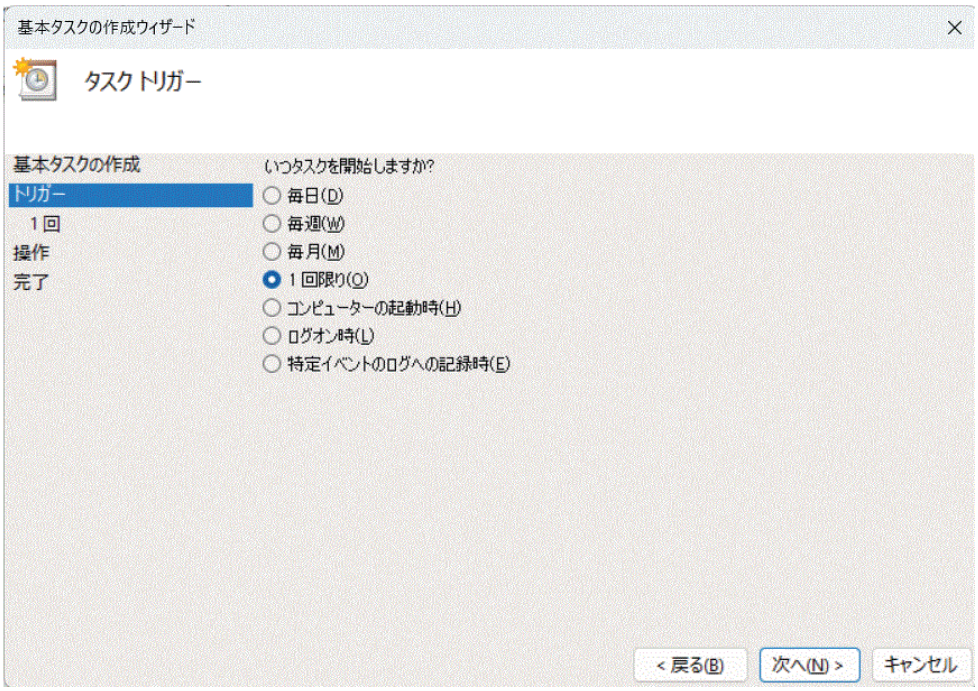
3. **基本設定タスクの作成**をクリックします。

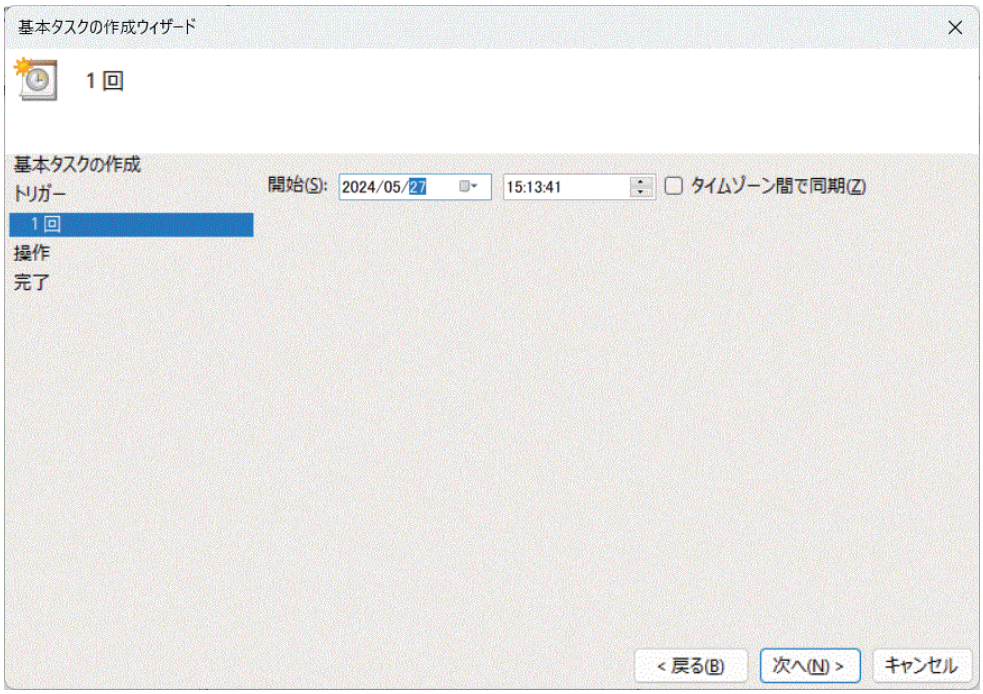


4. **名前**欄にタスク名を入力し、**次へ**をクリックします。

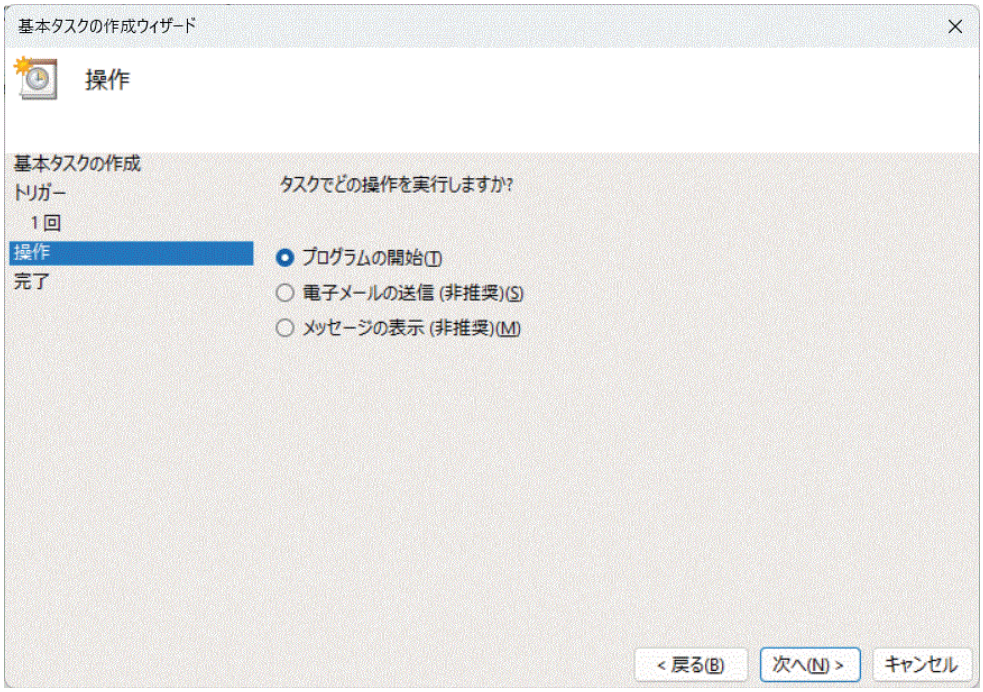


5. そのタスクのトリガーを選択し、**次へ**をクリックします。

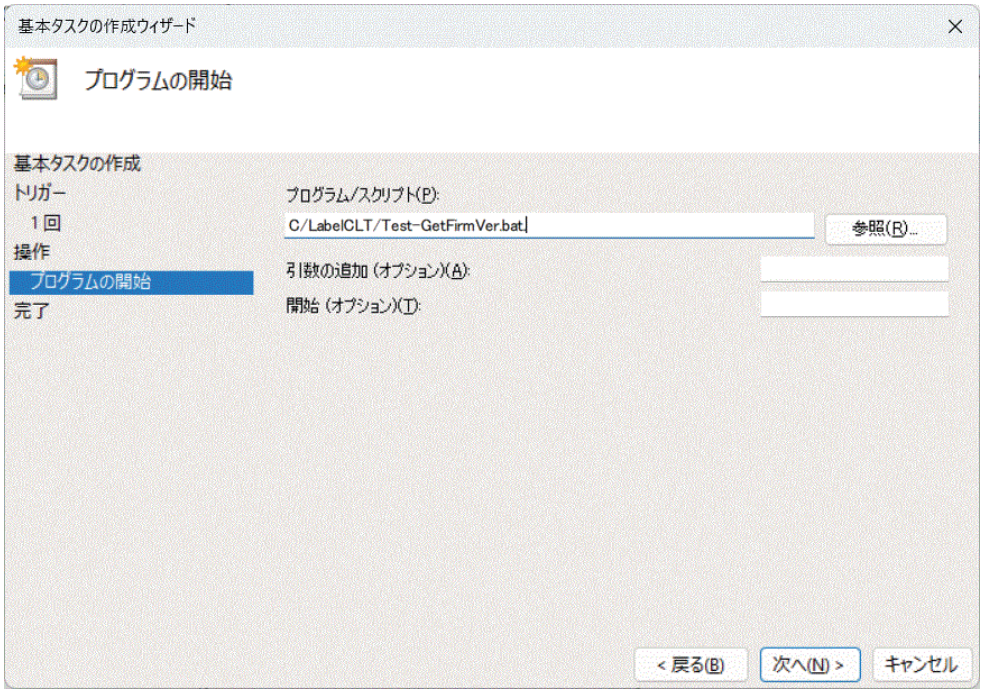




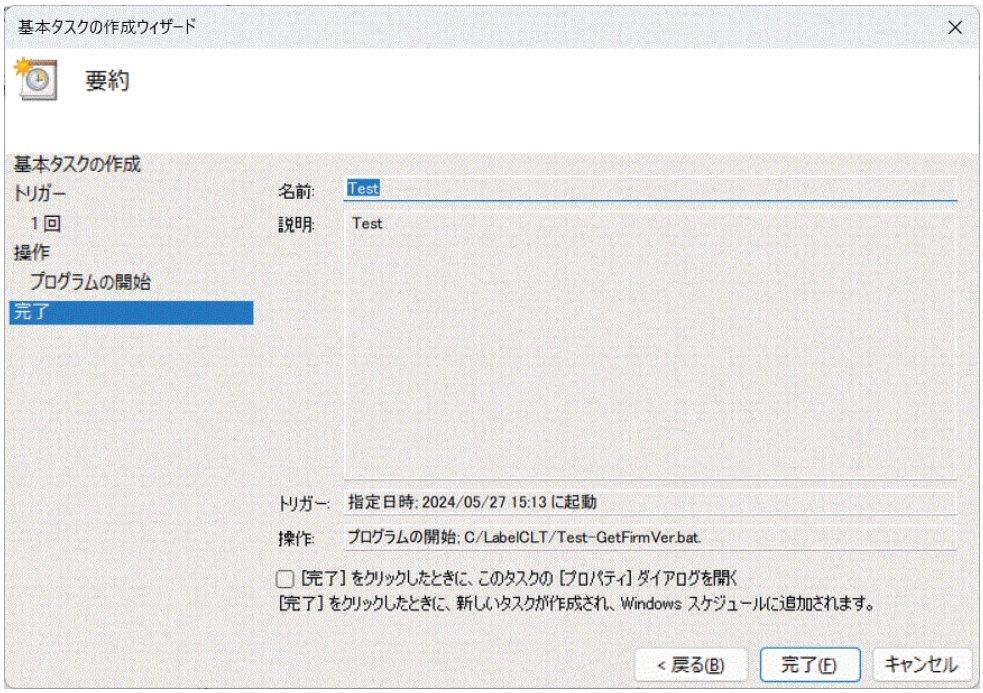
6. タスクで実施したいことを選択し（この例では、**プログラムの開始**を選択済みです）、**次へ**をクリックします。



7. **プログラム/スクリプト**欄で準備したバッチファイルを指定し、**次へ**をクリックします。



8. **完了**をクリックし、タスクの作成を完了します。



9. 対象プリンターのファームウェアを確認タスクは、指定した時間に指定したバッチファイルを使用して完了します。

本体の操作/本体情報の取得

1. 再起動および削除コマンド

機能	コマンド	説明	例
プリンター再起動	/reboot	プリンターを再起動します。	/ip:"192.168.0.250" /reboot
フォント削除	/remove_font: "IndexNo"*	指定したフォントを削除します（USB のみ）。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /remove_font:"*"
証明書削除	/remove_client_certificate:"IndexNo"	指定したクライアント証明書を削除します（USB のみ）。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /remove_client_certificate:1
	/remove_ca_certificate:"IndexNo"	指定した CA 証明書を削除します（USB のみ）。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /remove_ca_certificate:1

* 指定したインデックス番号に対応するフォントが削除されます。
インデックス番号に「*」を指定すると、すべてのフォントが削除されます。

例：
下記のフォントファイル「tahoma.ttf」を削除する場合、該当するインデクス番号（ここは「2」）を指定します。

```
C:\TEST> LabelCLT.exe/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /remove_font:”2”
```

0 times.ttf 1,220,872 byte
1 FontAwesome.oft 124.580 byte
2 tahoma.ttf 838,968 byte

2. プリンター情報を取得するコマンド

機能	コマンド	説明	例
デバイス名取得	/get_devicename	デバイス名を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_devicename <応答例> Brother TD-2350D (300 dpi)
ファームウェアバージョン取得	/get_firmwarever	ファームウェアのバージョンを取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_firmwarever <応答例> Main V0.01
国名取得	/get_countrycode	国名情報を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_countrycode <応答例> USA
容量取得	/get_total_memory	総容量を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_total_memory <応答例> All Storage Space　40,960KB
	/get_free_memory	空き容量を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_free_memory <応答例> Storage Available　40,718KB
用紙情報取得	/get_current_mediainfo	現在の用紙情報を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_current_mediainfo <応答例> [長さ不定/ダイカット] [幅] mm x [長さ] mm

機能	コマンド	説明	例
印刷総ページ数取得	/get_totalpage	印刷した総ページ数を取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_totalpage <応答例> Print Page Count 521
フォント取得	/get_fonts	フォント一覧を取得します。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /get_fonts <応答例> Index Font file name Size 0 f011003t_2.ttf 131 KB 1 f005000d_2.ttf 55 KB
証明書情報取得	/get_client_certificates	クライアント証明書一覧を取得ます。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /get_client_certificates <応答例> Total number: 2 Index Certificate Name Validity Period 0 ABC-Certificate 2023/10/24 1 10.1.2.145 2025/4/1 「Total number」は、本体に入っている証明書の数を示しています。
	/get_ca_certificates	CA 証明書一覧を取得します。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /get_ca_certificates <応答例> 上記の応答例を参照してください：/get_client_certificates。
モバイルデバイス管理（MDM）ステータス取得	/get_mdm_status	MDM モードに関するステータスを取得します。	/ip:"192.168.0.250" /get_mdm_status <応答例> Direct Mode : ON Server : 10.244.5.66 SNTP : Synchronized State : Non-activated(-100)

単体で使用する

以下の機能はプリンターと通信を行わず、LabelCLT を単体で使用できます。

機能	コマンド	説明	例
アプリ情報表示	/version	アプリケーションのバージョンを表示します。	/version
コマンド・エラー一覧表示	/help	コマンド一覧を表示します。	/help
	/error	エラー一覧を表示します。	/error
ライセンス表示	/license	OSS のライセンスを表示します。	/license
EULA の表示	/eula	ライセンス契約（EULA）を表示します。 EULA の条件に同意していない場合、同意を確認する画面が表示されます。	/eula
ログ出力のオン/オフ切替	/enable_debug	レジストリにログ出力をオンに設定します。 コマンドを実行すると、実行ファイル（.exe）と同じ階層にログ用フォルダー「LabelCLT_debug」が作成され、ログが出力されます。	/enable_debug
	/disable_debug	レジストリにログ出力をオフに設定します。 以降ログ出力されなくなります。	/disable_debug
MIB 試行回数指定	/mib_try_count:回数	ネットワーク通信時に、情報取得を試行する回数を設定します。	/mib_try_count:10
USB 転送時のタイムアウト設定	/usb_timeout:時間	USB転送API利用時に、既定データ量の転送タイムアウト時間（単位：ミリ秒）を設定します。	/usb_timeout:5000
BIN 形式でのファイル保存	/save_bin:"ファイルのパス"	BIN 形式でファイルを保存します。 （拡張子 TFF と OTF の場合のみ）	/save_bin:"c:\test\arial.ttf"

